

該当箇所	御意見・御質問	事務局の考え方
全体	「性的少数者」と「性的マイノリティ」が混在している。 どちらかに統一した方がいい。	国の第5次男女共同参画基本計画の表現に合わせ、「性的マイノリティ」に統一しました。
全体	男性の育児・家事について「参加」と「参画」が混在している。 どちらかに統一した方がいい。	「参画」は「計画（の立案）の段階から加わること」であるため、男性の育児・家事については「参加」に統一しました。
全体	「一人一人」と「一人ひとり」に使い分けはあるか。 P45 19 DV相談体制「一人一人」 P46 25 高齢者・障がい者への支援「一人一人」 P49 リード文内「一人ひとり」	「一人ひとり」に統一しました。
p. 5	5. の項目内の「SDGs」が、全角で記述されていることに違和感を覚える。 本文中に Sustainable Development Goals と英語が入っているので、英数半角で記述した方がいい。	アルファベット表記は半角に統一しました。
p. 8、9	2022 年から開始するプランで、統計の最新データが 2015 年のものというのは、気になる。 今年6月の速報値や、11月公表予定の「人口等基本集計」は反映できないか。 p.13 以降の春日井市のデータは2020年、21年の現状が反映されているので冒頭部分は致し方ないかと思う。	中間案には反映できませんが、確定値が発表され次第、可能な限り最終案までに反映させます。
p. 14	〔(6) DV相談件数について〕 DVの後に括弧書きで日本語を入れても良いのではないか。 また、DVの表記については、SDGsと同様英数半角にしたほうがよいかと思う。他の箇所のDV(p.20)やLGBT(p.21)についても同様。M字カーブなどのような一文字のだけ英字の場合は問題ないと思う。	(6) DV(配偶者等からの暴力)相談件数についてと表記します。  SDGsと同様、アルファベット表記は半角に統一しました。

該当箇所	意見・質問	事務局の考え方
p. 16	<p>実施日の令和2年9月～10月、報告書をまとめ公開した令和3年3月などの実施詳細が本文のどこにも記載されていない。見出し直下の本文冒頭〔(1) 職業生活についての前〕に調査概要を入れるべきではないかと思う。</p>	<p>本文中では調査の実施について簡単に記載し、資料編として調査の概要を追加する予定です。</p>
p. 37	<p>取組①「女性が働きやすい職場環境の整備」を「誰もが働きやすい職場環境の整備」としてはどうか。</p> <p>基本目標が「多様な生き方・働き方ができる社会」であること、またパタハラやLGBT差別などの問題もあるため。</p>	<p>この取組は、基本的施策①「女性のエンパワメントと人材活用の促進」のためのものですので、「女性が働きやすい職場環境の整備」とします。</p>
p. 41	<p>第6章 各施策の推進</p> <p>基本目標Ⅰ. 多様な生き方・働き方ができる社会</p> <p>取組NO. 5「男女共同参画を推進する人材の育成」が基本的施策②から基本的施策①に移動している。</p> <p>愛知県が行っている「愛知県男女共同参画人材育成セミナー」は、「政策や方針決定の場への女性の登用を積極的に推進するため、とりわけ県内市町村において登用できる女性人材を計画的かつ継続的に育成することを目的として実施している」となっている。</p> <p>そのことから基本的施策②とすべきと考える。</p>	<p>セミナーの目的はご意見のとおりです。</p> <p>基本的施策①に移動した理由は、セミナーそのものが参加する女性のエンパワメントにつながると考えたためです。セミナーに参加することがエンパワメントにつながり、その後、基本的施策②の取組 No. 6、主な内容2の人材リストに登録され、審議会等委員に登用されることで政策・方針決定過程への女性の参画推進が進むと考えました。</p>
p. 44	<p>取組No. 17「市関連施設の環境整備」</p> <p>主な内容「男女共用トイレ(多目的トイレ)の充実」を「多目的トイレ(男女共用トイレ)の充実」とすべきと考える。</p> <p>男女共用が目的のトイレではなく、おむつ替えや障がいのある人も使いやすいトイレを指すと思う。</p>	<p>ご意見のとおり修正しました。</p>

該当箇所	意見・質問	事務局の考え方
p. 46	取組 No. 23 の主な取組 1 で、改行後一文字下げになっている。	その他の箇所も併せて修正しました。
p. 56	第 7 章 3. 推進のための数値目標 ※ 1 の注釈を入れることによって、地域や学校ごとに差があることを容認している印象を与えないか。そもそも地域差があるのは他の項目にも当てはまることではないか。	「自主的に組織された団体であるため、数値目標を設定することは馴染まない」という記載に変更しました。
p. 56	第 7 章 3. 推進のための数値目標 老人クラブ会長の割合を追加してはどうか。 老人クラブの会員の男女比は女性が多いが、役職はほとんど男性が担っている。疑問を抱く人はほとんどいない。ジェンダー平等意識の希薄な高齢者世代の意識に潜む無意識の偏見・容認を払拭することが課題である。	地縁等団体における男女共同参画推進の指標としては、町内会長・自治会長や PTA 会長の割合で現状を把握することとしています。
p. 57	第 7 章 3. 推進のための数値目標  新しく追加する予定だった「消防団における女性の割合」を削除した理由はなぜか。	春日井市の消防団における女性の割合は、国の目標値を超えています。現状女性団員は主に啓発活動を担っており、身体能力の差から災害現場では活動していません。男女それぞれの特性に合った活動をしており、災害現場で活動する男性団員を増やしていく動きがあることから、女性の割合を増やす目標値は削除しました。
p. 57	第 7 章 3. 推進のための数値目標  「特定検診の受診率」は男女合わせて目標値か。	男女合わせた数値です。誰もが自分らしく生きるため、生涯を通じて健康な心身を維持する健康づくりを支援する事業を実施します。その進捗状況を把握するために目標値としています。

該当箇所	意見・質問	事務局の考え方
p. 56、57	<p>第7章 3. 推進のための数値目標</p> <p>全体的に現行プランよりトーンダウンした印象を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現行プランより目標値が下がった項目・・・4</li> <li>・ 現行プランと目標値が同じ項目・・・6</li> </ul> <p>目標値を達成することが目的になってはならないと思う。プランの期間が5年間ということや社会情勢の変化などの理由もあるかもしれないが、「職場において男女平等であると感じている市民」が4人に1人で、「互いに個性を尊重し 誰もが自分らしく輝ける社会」と言えるのだろうか。</p>	<p>数値目標はプランの進捗状況を客観的に把握するための値です。ご意見のとおり理想の数値は高くあるべきと考えますが、次の5年間に事業を実施して目指す数値として、現行プランの達成状況を踏まえ、10%前後増加するよう目標値を設定しています。</p> <p>取組と同様、目標値も見直しの対象であり、現状値が下がっているものは目標値も下げて設定しています。</p> <p>特定検診の受診率は、春日井市国民健康保険特定健康診査等実施計画（第3期）において目標値が見直されたことから、プランの目標値も併せて下げました。</p>
p. 58～59	用語解説に「ファミリーシップ」を入れてほしい。	「ファミリーシップ制度」を追加しました。
	障がい児、障がい者、要介護高齢者、社会的弱者などを支える領域を担うのはほとんどが女性。役割分担意識が当たり前のように漂っていることが問題。自然の形で市民に浸透していく手立てが必要だと考える。日常生活で考える習慣を提供する可能域・機会が頻繁にあると進展すると思う。	ご意見のとおり日常生活で考える機会を作ることが重要と認識しています。取組 No. 13 男性の主体的な家事・育児・介護の促進において、男性の家事・育児・介護能力向上のための講座開催や『おとう飯』を通じた男性の家事参加の促進などに取り組んで進めて参ります。